



檜原学園
Hinohara Gakuin

檜小だより

檜原学園檜原小学校



10月号

令和2年度

10月1日(木)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

絞りと開放の話

校長 乙津 秀敏

先日1年生がたくさん朝顔の種を見せてくれました。この夏毎日お世話をした朝顔の種を手にも嬉しそうで。この夏の長雨の影響を受けてはいるものの、他の学年の作物もまた実りの秋を迎えています。先月18、19日の両日で実施しました道徳授業地区公開講座及び運動会につきましては、感染症対策の観点から例年とは違う形での開催とさせていただきます。保護者、地域の皆様にはご理解ご協力をいただきましたこと改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

表題を見て、「何の話だろう?」と思われた方が多かったかと思います。今回は私の趣味の一つであるカメラの話題です。入学式や卒業式の記念写真撮影の際にカメラと三脚を抱える私を見た方はお分かりかと思いますが、実はカメラ(写真)は私の趣味の一つなのです。普段は各地の風景や城を中心に撮影して楽しんでいます。最近はデジタルカメラが進化しているため以前のようにフィルムの枚数を気にすることなくたくさん撮影できるので嬉しく思っています。さて、そんなわけで多くの写真を撮るのですが、表題にある「絞りと開放」は、撮影する際に常に意識していることの一つなのです。簡単に言いますと、カメラレンズの絞りを絞ると手前から奥まで写したい物全てに渡ってしっかりとピントが合い、反対に絞りを開放するとピントが合う部分が少なくなり、バックがボケて撮れるのです。どちらも表現に個性が生まれ、多彩な表現を楽しむことができます。私はその時々でこれらを使い分けて撮影し、楽しんでいます。同じ物を撮る際にこれら2通りのやり方で撮影することもあります。撮れた写真を見ると全く別の物に見えることがあり、とても面白いです。ぜひ皆さんも試してみてください。

実はこの「絞りと開放」という考え方は、写真以外にも私が担任時代によく心に留めていたものです。すなわち、子供たちの活動を見る際に、どこに焦点を当てるか、どこまでを捉えて評価していくか・・・これらを意識していないと子供たちの課題を見極め、力を高めていくことができないと思っていたからです。一番怖いのはその時々気分によって何となく子供たちを見て、その活動を評価してしまうことです。これでは伸びるものも伸びませんし、課題も見付かりません。今でも尚、様々な面において物事を見る視点はとても大切なことと思っています。

さて、前述のようにここで新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため延期していた運動会、そして今年度初となる授業参観(道徳授業地区公開講座)を開催いたしました。保護者の皆様には、約半年ぶりに我が子の学習活動の様子をご覧いただきましたがいかがだったでしょうか。子供たちのよいところを見つけていただけたら幸いです。感染症の状況にもよりますが、今後可能な限り子供たちの活躍する姿を保護者の皆様に見ていただく場面を設けていきたいと考えています。そしてそのような参観の折にはぜひ先程の「絞りと開放」の目で見ていただけたらと思っています。つまり様々な見方によって子供たちの頑張りを見つけていただくと同時に長い目で成長の過程を見つめていただけたらと思います。子供たちは自分のよさやがんばりを褒められるととても嬉しいのです。そして大人が思っている以上の伸びを示すものです。

ここで10月に入りました。今年度も折り返し地点を過ぎました。各学年とも学習内容を深め次年度へとつなげていく時期となります。特に6年生は小学校生活の総仕上げの時期へと入っていきます。残り半年間、学校及び家庭の両面で子供たちの自己肯定感・自己有用感を育み、成長へとつなげて参りましょう。

運動会

今年度の運動会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、午前中のみとするとともに演目を整理しての開催となりました。

当日は、雨も降らず、暑さもなく、1年生から9年生まで「協心戮力」のスローガンのように力を合わせて、頑張る姿がととも輝いて見えました。温かい拍手をありがとうございました。

来年度以降も、力を合わせて檜原学園の運動会を作り上げられるようにしていきたいと思えます。

体育的行事委員会 藤澤 紫織



バードカービング

1学期から4回に渡って制作してきたバードカービングが完成しました。

このバードカービングでは、檜原で見られる鳥をテーマに作品作りを行います。図鑑で調べるところから始め、作品の行程が進んでいく中で子供たちもその鳥の特徴を捉えていく様子が見られました。講師の先生が最後の授業でおっしゃっていた「一生懸命作った作品は一人一人にとっての宝物になりますよ。」という言葉が強く心に響きました。子供たちにとって、忘れられない小学校の思い出になったのではないかと思います。

今回作った作品は、広報「ひのはら」に掲載する予定です。お楽しみに・・・。

5年担任 竹内 啓太



日光移動教室

9月9日から11日までの3日間、日光移動教室に行ってきました。天気が心配される中でしたが、大きな影響もなく、かえって涼しい天候の中、ハイキングを楽しみ、小田代ヶ原の素晴らしい景色を見ることができました。

檜原とは違う日光にしかない自然の豊かさや、滝の迫力などを感じることができました。

挨拶や返事、5分前行動など、3日間の中で見えてきた子供たちの成長、今後の目標等、学びの多い3日間となりました。日光移動教室で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいと思えます。

6年担任
堀本 太郎



10月の生活目標

みんなで協力して活動しよう！

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、学校でも手洗いやマスクの着用、三密を避ける生活を心がけています。以前の生活でイメージする「みんなで協力して活動する」ということは難しいかもしれませんが、新しい生活様式のもとでの「みんなで協力して活動する」ために、一人一人責任と自覚をもって生活していくことが大切です。身体的距離は離れていても、精神的距離を近づけて、みんなで協力して活動できるように指導していきたいと思えます。

生活指導担当 新藤 智美



今後の行事予定について

- ・例年 11 月上旬にキララホールで行われていた、日の出町、奥多摩町、本校の児童による連合音楽会は、中止となりました。
- ・今年度予定していた学芸会は中止とします。代わりに生活科、総合的な学習の時間の学びを中心とした発表会「ふるさと檜原学習発表会」を3学期に開催予定です。(詳細は、後日連絡します。)

SDGs紹介②

世界の人口は約 77 億人。そのうちの世界でもっともお金持ちの8人は、貧しい人たち 36 億人分と同じ資産を持っています。

また、人種や国籍、性別などの差別も多くあります。このような不平等をなくしていくために、みんなが違っていることを知り、違いがあるのが当然だと理解すること。お互いの違いを認め、相手を大事にする気持ちが、何よりも大切になってきます。

10 人や国の不平等をなくそう

